

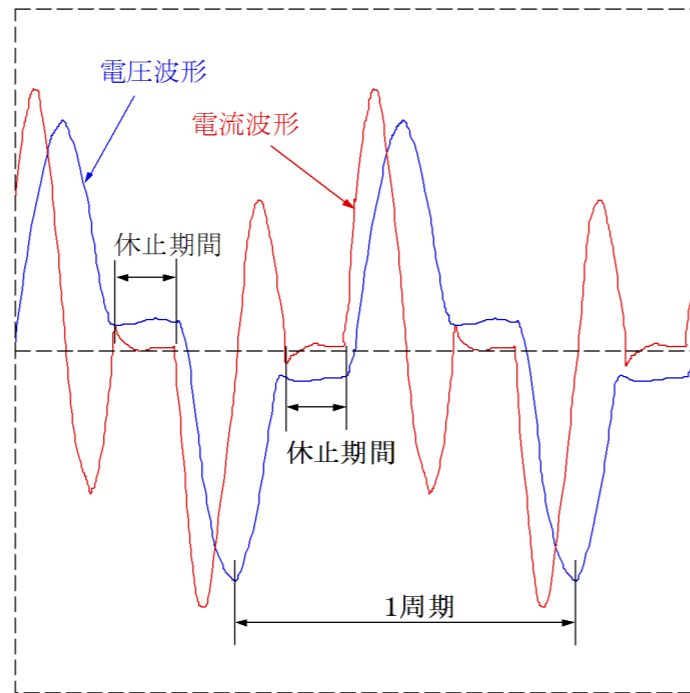
高周波高電圧電源 HCII-70/2

概要

本高周波高電圧電源(HCII-70/2)は沿面放電を発生させるために開発・設計された電源です。沿面放電は放電電力を増大させていくと放電に伴う熱により沿面放電素子の温度が上昇し、自動的に放電電力が増大するポジティブ・フィードバックが発生します。その結果、電源が過負荷になって破損したり、沿面放電素子が過熱破損する危険性がありました。本電源は高周波インバータの一次側を電力制御することで沿面放電管が消費する電力を制御しています。また、高周波高電圧には右図のような休止期間(電流が流れない期間)を設け、沿面放電素子が熱暴走することを防止しています。

(特許4029422号)

本高周波高電圧電源(HCII-70/2)は、放電電力制御機能、沿面放電素子破損検出機能を有する沿面放電素子を駆動するために最適な電源で、4nF程度までの静電容量を有し、最大1kW程度の放電電力を消費する沿面放電素子を駆動することができます。



出力電圧電流波形
(模式図)



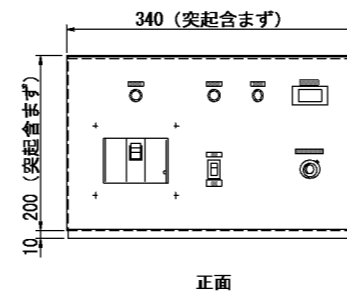
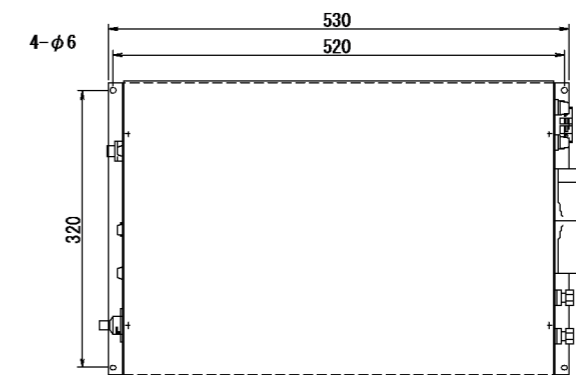
高周波高電圧電源
HCII-70/2

より大きな容量の電源も製作いたします。

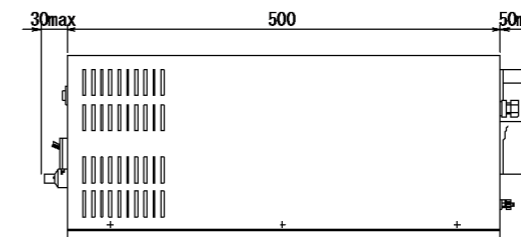
例)

仕様

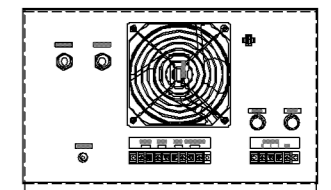
型式	HCII-70/2
外形	340mmW x 210mmH x 580mmD (Max)
電源入力	3φ 200Vac±10%、1.5kVA (50/60Hz)
対象負荷	静電容量2nF(定常時)の沿面放電負荷(OC-70 series) 2本 静電容量変動に対応し、IGBTブリッジのゲート巾自動調整機能を有します。
出力電圧	最大1kVpp(放電損失がない場合)
出力電力	450~1,000W
出力周波数	9.9kHz 程度
保護機能	負荷短絡などの過電流を検出した場合にAlarmを発生し高圧出力停止



正面



右側面



背面

外形図



株式会社 増田研究所

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-11 かねやすビル 6F

Tel: 03-3818-0472 Fax: 03-3818-9818

E-mail: info@masuda-research.co.jp

Home Page: <http://www.masuda-research.co.jp>